

各地で行われている自主防災訓練情報

鳴門 AED 体験（平成22年2月3日）

鳴門市の里浦小学校で防災訓練があり、里浦地区の住民約120人が災害時の対処法を学びました。

日赤徳島県支部の職員が、けが人の搬送方法やAED(自動体外式除細動器)の使い方を手ほどきしました。参加者は、「足を頭より低くして運んで」などとアドバイスを受けながら、毛布で簡易担架を作つて実際に搬送しました。津波を想定した避難訓練もあり、サイレンを聞いた住民が最寄りの高台へ避難しました。

訓練は、里浦町自主防災会連合会が毎年行っています。（徳島新聞Webより抜粋）

小松島 立江自主防災会の防災訓練（平成22年2月28日）

立江自主防災会が地域住民に参加を呼びかけ、立江小学校にて防災訓練が行われました。難聴者の方やその支援者の方など、訓練には地域住民約200人が参加。炊き出し訓練や機器操作訓練など、いざという時のために非常食米の作り方や道具の使い方などを学びました。

この日は、前日に南米チリで発生した巨大地震の影響で、県内には津波警報が発令されており、参加者らは「いつ我が身に起るともしれない」と真剣な表情で訓練に取り組んでいました。（広報こまつしま（No.671）より抜粋）



阿南 橘 Waンダー防災フェスタ（平成22年9月5日）

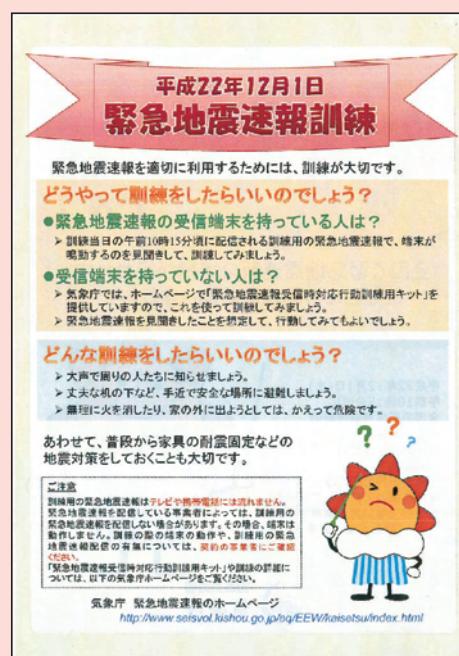
阿南市の「Jパワー&よんでんWaンダーランド」にて、防災フェスタが行われ、地域住民の方々が防災について学びました。

阿南市や、日本赤十字社徳島県支部の協力の下、今後発生が懸念されている南海地震に備え、地域の防災に関する意識を高めることを目的に行われました。地元婦人会による250食分の炊き出し訓練や、起震車による地震体験など、楽しみながら防災について考えることが出来たようです。

お知らせ

緊急地震速報訓練

（平成22年12月1日）



発行：小松島みなとまちづくり協議会

（平成22年度事務局：国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 TEL:0885-32-3357）